

委員会だより

第 1 号
平成16年11月19日

事務局：教育委員会事務局学校計画課
(671-3252)
青葉区役所地域振興課
(978-2469)

あざみ野第二小と山内小の大規模化を解消するために、平成19年4月の開校予定で黒須田に小学校が新設されることとなりました。これを契機として、周辺の小中学校の通学区域の課題箇所を是正するため、地域やPTAの代表、学校長等から構成される「青葉区黒須田地区等通学区域調整等委員会（以下「委員会）」を設置し、平成16年10月5日に第1回委員会を開催しました。

第1回委員会では、委員会における役員を選任するとともに、広域にわたる通学区域の課題を効率的に検討するために、3つの部会()を設置し、進めていくこととなりました。

第一部会：黒須田地区小(仮称)関係、第二部会：あざみ野第二小関係、第三部会：山内小関係

あざみ野第二小学校と山内小学校の児童数及び学級数

	あざみ野第二小学校	山内小学校
児童数	1022人	880人
学級数	30学級	27学級

平成16年5月1日現在

個別支援学級を含む。

黒須田地区小(仮称)、あざみ野第二小、山内小等の再編素案を提示

平成16年10月21日開催の部会において、事務局から黒須田地区小(仮称)の通学区域及び再編後の関係小学校の通学区域を素案という形で提案しました。(素案は裏面参照)

通学区域の素案は、学校規模、通学距離、地域コミュニティ等を総合的に考慮して設定したものです。今後、この素案をもとに学校・PTAや地域の方々の御意見を伺いながら検討し、通学区域案を決定していきます。

なお、再編により大きく変更される学校の通学区域素案は、次のとおりです。

黒須田地区小	・現行の特別調整通学区域(黒須田・大場町の一部) ・大場町のうち、 現在あざみ野第二小、あざみ野第一小、荻子田小となっている区域
あざみ野第二小	・あざみ野三丁目、みすずが丘、あざみ野南二丁目・三丁目・四丁目
山内小	・現行山内小区域から、次の()を除いた区域 (あざみ野南二丁目・三丁目・四丁目、あざみ野二丁目38番地) 併せて特別調整通学区域の設定も検討

新設校の校名案のアンケートを実施

黒須田地区小(仮称)について検討する第一部会においては、新設校の校名案を選定するため、アンケートを実施することになりました。

対象は、あざみ野第二小に通学する児童の保護者をはじめ、素案で新設校の通学区域内に居住する保護者のほか、地元町内会にも回覧により案を募集することとしました。

～ 委員会・部会での主な質問・意見 ～

通学区域素案について

山内小は、再編素案で、あざみ野南二丁目～四丁目をあざみ野第二小に編入したにもかかわらず、事務局の試算では、平成19年度には955人とかなり増えているが大丈夫か。

この問題については、第二・第三部会で検討しますが、山内小全体の通学区域を考慮し、北側や東側の区域と調整したいと考えています。

素案では、あざみ野南二丁目～四丁目山内小からあざみ野第二小へ移行することになっているが、学年途中でも強制的に移ることになるのか。または、段階的に移行していくのか。

関係する方々の意見を尊重し、検討したいと考えています。

やよいが丘自治会の大部分は、現在鉄小の通学区域となっているが、距離的に近い新設校ができるかと将来不満ができるかもしれない。

あざみ野第一小は、平成22年に900人を超える見込みとのことだが、新設校の開校により、あざみ野第二小は、試算では平成19年に604人となる。例えば、あざみ野二丁目をあざみ野第二小の通学区域に入れることは不可能か。

今回は検討項目に入れていませんが、住民の方々があざみ野第二小へ移動する意向があれば一つの案になると思います。

あざみ野第一小も近い将来、900人を超える見込みということだが、今回の素案では、あざみ野第一小の通学区域については、ほとんど変更がない。案が固まった後に山内小、あざみ野第一小とも児童数が増えて900人を超える状況となった場合、また個々に見直すのか。

今回は、あざみ野第二小と山内小の課題解消が主たる目的ですが、あざみ野第一小の課題についても検討していきます。

学校の新設について

あざみ野駅前（あざみ野一丁目15番地）の学校用地に学校を建設する予定はないのか。

学校を新設は、該当する学校が31学級以上になった場合、検討します。今の周辺校の学級数からその学校用地については見送りました。

山内小での運動会などを見ると狭くてかわいそうだと思う。新設校の建設は、単に学級数が一定の基準を超えてからというのではなく、その他のことも考慮してほしい。

学校の新設については、大変ありがたいと思う。青葉区には、ほかにも元石川や奈良、田奈等課題がある。また、このことに伴い、中学校の通学区域の問題についても考えてほしい。

青葉区には、他にも課題箇所は多く存在するので引き続き検討していきます。中学校の問題についても同様です。

校名案について

校名については、保護者に対するアンケートだけでなく、長い期間住んでいる地域の人からも意見を聞くべきだと思う。

青葉区黒須田地区等通学区域調整等委員会委員（敬称略）

委員長	松澤 孝郎（青葉区連合自治会会長・荏田連合自治会会長）
副委員長	小野 遼 旻（山内連合自治会会長）
顧問	白井 文雄（中里連合自治会会長）
同	高木 杲（上谷本連合町内会会長）
同	兼平 謙一郎（美しが丘連合自治会会長）
第一部会長	遠藤 一典（黒須田・大場町地区小中学校建設促進委員会委員長）
副部長	志田 豊（同 副委員長）
同	白井 福松（大場町一心会会長）
第二部会長	徳江 傳三（荏田宿自治会代表）
副部長	青木 一泰（同）
同	金子 恵美子（あざみ野第二小学校PTA会長）
第三部会長	上杉 勲（山内小学校前PTA会長）
副部長	加藤 副恵（山内小学校PTA会長）

委 員

坂田 清一（鉄町内会会長）	野田 昌美（美しが丘中学校PTA会長）
志村 成三（黒須田自治会会長）	塚本 泉美（すすき野中学校PTA会長）
伊達 文治（やよいが丘自治会会長）	今井 美智枝（みたけ台中学校PTA会長）
大河内 純子（あざみ野白ゆり自治会代表）	長光 淳子（もえぎ野中学校PTA会長）
小方 章（みすずが丘自治会会長）	蟹江 千鶴（山内中学校PTA会長）
早瀬 晶子（あざみ野団地自治会代表）	梶原 憲司（あざみ野第一小学校校長）
和田 茂穂（あざみ野三丁目自治会会長）	平澤 節夫（あざみ野第二小学校校長）
池田 泰子（アルスあざみ野自治会会長）	宮武 三郎（市ヶ尾小学校校長）
野見山 さゆり（ダイアパレスあざみ野自治会代表）	惣万 幹夫（美しが丘小学校校長）
横溝 賢次（新石川下谷自治会会長）	清水 誠（美しが丘東小学校校長）
金子 吉雄（新石川中村自治会会長）	仲田 明也（荏子田小学校校長）
谷野 力（美しが丘五丁目北自治会会長）	伊藤 克男（鉄小学校校長）
吉村 勝太郎（美しが丘五丁目牛込自治会代表）	邑上 途一（嶮山小学校校長）
小塚 桂子（あざみ野第一小学校PTA会長）	鳥居 正夫（新石川小学校校長）
名角 公伸（あざみ野第二小学校前PTA会長）	庄司 三男（山内小学校校長）
岡本 睦子（市ヶ尾小学校PTA会長）	天草 勉（あざみ野中学校校長）
城所 哲夫（荏子田小学校PTA会長）	石浦 一夫（美しが丘中学校校長）
小駒 京子（鉄小学校PTA会長）	長南 東三（すすき野中学校校長）
芳野 恵子（嶮山小学校PTA会長）	菅野 勝（みたけ台中学校校長）
工藤 恒一（新石川小学校PTA会長）	秋本 健一（もえぎ野中学校校長）
笠原 祐子（あざみ野中学校PTA会長）	渡辺 賢彦（山内中学校校長）

青葉区黒須田地区等通学区域調整素案（小学校）

黒須田地区小（仮称）・あざみ野第二小・山内小

※ あくまで「素案」で決定ではありません。

